

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																																					
専修学校 麻生ビューティーカレッジ		平成14年3月29日	林 宏治	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800																																					
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																																					
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																				
衛生	衛生専門	美容科		平成16年2月17日 告示30号	-																																				
学科の目的	本学科は、美容師に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。																																								
認定年月日	平成26年3月31日																																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																																			
2 年	昼間	2100	600	90	1860																																				
単位時間																																									
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																				
360 人	150 人	1 人	9 人	21 人	30 人																																				
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。																																				
長期休み	■夏 季:8月1日～8月31日 ■冬 季:12月19日～1月4日 ■春 季:3月6日～4月3日			卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。																																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 補講の実施、休学、留年			課外活動	■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無																																				
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 美容サロン、美容業界 ■就職指導内容 求職票面接、個別指導等 <table border="1"> <tr><td>■卒業生数</td><td>88</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数</td><td>86</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数</td><td>86</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合</td><td>97.7</td><td>%</td></tr> </table> ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			■卒業生数	88	人	■就職希望者数	86	人	■就職者数	86	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合	97.7	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家資格</td> <td>②</td> <td>88人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ・フューチャーズロードデザインパワー 優秀賞1名 特別激励賞1名		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家資格	②	88人	87人												
■卒業生数	88	人																																							
■就職希望者数	86	人																																							
■就職者数	86	人																																							
■就職率	100	%																																							
■卒業者に占める就職者の割合	97.7	%																																							
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																						
美容師国家資格	②	88人	87人																																						
中途退学 の現状	■中途退学者 12 名 平成28年4月1日時点において、在学者179名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者167名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、病気療養 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任と個別面談、臨床心理士によるカウンセリング			■中退率	6.7 %																																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金、校納金、寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 平成28年度実績 0名																																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																								
当該学科の ホームページ URL	http://www.asojuu.ac.jp/abc/subject/beauty/																																								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、トータルビューティーを推奨する美容サロンの動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい美容技術・ネイル・メイク・エステの施術ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、実務実習のもと企業(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などにできる限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
甲木 輝彦	ビューティービジョン協同組合	H29/4/1～H31/3/31	①
長島 滋	株式会社 サラ	H29/4/1～H31/3/31	③
林 宏治	麻生ビューティーカレッジ 校長	H29/4/1～H31/3/31	
渡辺 博明	麻生ビューティーカレッジ 校長代行	H29/4/1～H31/3/31	
金川 盛一	麻生ビューティーカレッジ 教務部主任	H29/4/1～H31/3/31	
江藤 登志美	麻生ビューティーカレッジ 教務部 副主任	H29/4/1～H31/3/31	
中西 徳孝	麻生ビューティーカレッジ 事務長補佐	H29/4/1～H31/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催(毎年7月、1月)

(開催時期)

平成28年度 第1回 平成28年7月 4日 10:00～11:00

平成28年度 第2回 平成29年1月 30日 13:00～14:00

平成29年度 第1回 平成29年7月 3日 11:10～12:10

平成29年度 第2回 平成30年1月 29日 開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

美容業界において、社員育成において、「目的」を共有することが大切であるとの指摘があった。平成29年度の本校の重点項目の中に、「目的、意味」を意識して運営することを入れた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校では体験できない接客業やサロンワークを実体験させることにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を意識させることを目的とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

美容実習

実習の受け入れ先の美容室の実習担当者と本校美容科教員が実習実施前に、打ち合わせを行い、実習内容の詳細を決定するとともに、学生の学修成果の方法についても打ち合わせを行い決定する。実習期間中は、美容科教員が各美容室に実習期間中(8日間)に1回訪問し、学生の実習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、美容室の実習担当者による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が単位認定を行う。

ヘアカット

ヘアカット(TONI&GUY)に関する授業科目の担当教員は、学校とTONI&GUYが締結している契約書に基づいて、TONI&GUYが主催する研修を受け、認定講師終了試験合格しと上で、同社より美容実習(TONI&GUY)における教育内容に関する指導方法、評価方法、教材作り等に対する助言、資料等の提供を受け、実践的な授業(ベーシックカット(ワンリングス、グラデーション、レイヤー)を60時間教える)を行う。また、実習終了後には、TONI&GUY本部講師が最終チェックを行い、学生の学修成果の評価を踏まえ、TONI&GUYと本校教員が協議した上で評価を行う。その上でTONI&GUYの合格基準を修得した学生には同社より認定証が授与される。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習 (総合実習)	総合実習として、1年次に60時間(8日間程度)美容室にて現場実習を行う。	(株)田谷、TONI&GY JAPAN、 (株)SARA、(株)ネオ・アーデント
ヘアカット	1年次に60時間、教育提携しているTONI&GUYのカットプログラムを導入し、検定試験を受験する。	TONI&GUY JAPAN

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在の職務又は今後就くことが予想される職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。

「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が計画的に受講できるようにする。

また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

【2016年度実績】

(1) TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修 (TONI&GUY JAPAN主催)

(目的・内容) 認定講師としての技術力を維持するために、連携先であるTONI&GUYの規定に基づき3年に1回受講。

(対象・日程) 美容科教員 2名参加(8/1~8/4) 2名参加(8/15~8/17)

(2) TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修 (TONI&GUY JAPAN主催)

(目的・内容) 連携先であるTONI&GUYのカリキュラムを教えるために必要な認定講師としての資格を取得するために受講。

(対象・日程) 平成27年度新規採用となった1名参加(8/1~8/4)

(3) 美容師国家試験実技試験員養成研修会 (理容師美容師試験研修センター主催)

(目的・内容) 美容師国家試験実技委員になるために、委員として必要な知識を習得するために受講。

(対象・日程) 5年以上の実務経験のある美容科教員 1名参加(4/21)

(4) JBCA認定教員更新研修(日本ビューティ・コーディネーター協会主催)

(目的・内容) 連携先であるJBCAの教員としての技量を維持するために、JBCAの規定に基づき受講。

(対象・日程) JBCAカリキュラムを教える教員 1名参加(4/21)

(5) 九州地区理容師美容師養成施設教職員研修 (九州地区理容師美容師養成施設協議会主催)

(目的・内容) 美容師として必要な概論的知識を習得するために受講。

(対象・日程) 平成27年度に採用され、受講実績のない教員 1名参加(10/31~11/1)

②指導力の修得・向上のための研修等

【2016年度実績】

- (1)体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナルデザイン)研修 (全国専門学校教育研究会主催)
(目的・内容) インストラクショナルデザインの基礎を学び、担当科目のカリキュラム、シラバスの設計方法を習得する。
(対象・日程) 美容科リーダー教員 1名参加(7/7)
- (2)中堅教員研修・新任指導力(組織コーチング・メンタリング) (全国専門学校教育研究会主催)
(目的・内容) 中堅教員として、部下指導、学生指導を行うために必要なコーチング、メンタリングの知識を習得する。
(対象・日程) 美容科教員(副主任) 1名参加(8/11)
- (3)社会人基礎力向上対策講座 (全国専門学校教育研究会主催)
(目的・内容) 様々な課題を抱えた学生たちに対応するための知識、技能を習得し、他教員へも共有できるように受講。
(対象・日程) 美容科教員(リーダー) 1名参加(2/21~2/22)
- (4)ID(インストラクショナルデザイン) I (麻生塾スキルアップデイ)
(研修講師) 岡村 慎一氏(専門学校YICグループ)
(目的・内容) インストラクショナルデザインの基礎を学び、担当科目のカリキュラム、シラバスの設計方法を習得する。
(対象・日程) 美容科教員 2名参加(2/9) 1名参加(2/16)
- (5)授業スキルⅡ(麻生塾スキルアップデイ)
(研修講師) 内部講師
(目的・内容) インストラクショナルデザインの基礎を学び、担当科目のカリキュラム、シラバスの設計方法を習得する。
(対象・日程) 美容科教員 2名参加(10/19)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

【2017年度計画】

- (1)TONI&GUY教育提携校認定講師資格更新研修 (TONI&GUY JAPAN主催)
(目的・内容) 教育提携するTONI&GUYが主催する研修において、同社の技術水準以上のレベルで教育ができるように更新研修に3年に1回参加する。(8月)
(対象・日程) 資格更新対象教員参加 (8月)
- (2)美容文化論教員資格取得研修 (日本理美容教育センター主催)
(目的・内容) 課目の教員資格を取得するため
(対象・日程) 対象教員1名参加 (6月)
- (3)九州地区理美容養成施設協議会研修 (九州地区理容師美容師養成施設協議会主催)
(目的・内容) 美容に必要な教養的知識の習得を行うため
(対象・日程) 対象教員1名参加 (10月)

②指導力の修得・向上のための研修等

【2017年度計画】

- (1)教育コーチング研修 (全国専門学校教育研究会主催)
(目的・内容) 傾聴、質問、承認のスキルを用いた効果的な対話技法であるコーチングを学び、効果的な対話のある授業や相談活動に活かせるようになることを目標とする。
(対象・日程) 美容科教員 1名参加(8月)
- (2)カウンセリングⅡ(麻生塾スキルアップデイ)
(目的・内容) ロールプレイングによるケーススタディで、個別面談の仕方を学ぶ。
(対象・日程) 美容科教員 3名参加(5月)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。

また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

教員の業務負担について、過度になるケースがある場合は、是正をしていく必要があるとの意見をいただいた。教員の中でも特に大多数を占める美容科が中心となり、「業務改善」を進めることとした。平成29年度において、毎月の責任者会議において、業務の見直しを議題であげて、4月から継続的に協議を行い、業務改善を進めた。

特に負担となっていた業務(授業や学生指導以外)について、事務局職員で対応できるものを事務局へ移行し、美容科教員が教育に専念できる体制を整えた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
森田 伸	株式会社 ダリア	H29/4/1～H31/3/31	企業等
藤野 善友	SOEN	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
友岡 貴昭	ビューティースペシャリスト科1年在校生保護者	H29/4/1～H31/3/31	保護者
永末 里志	博多女子高等学校	H29/4/1～H31/3/31	高等学校関係者
山本 信彦	大名2丁目3区町内会	H29/4/1～H31/3/31	町内会長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、麻生塾の取組み
(2)各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、国家試験、内定実績
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職進学サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	年間行事
(6)学生の生活支援	学生寮、国際交流センター
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、日本学生支援機構奨学金制度、授業料減免制度
(8)学校の財務	財務情報
(9)学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会報告書
(10)国際連携の状況	海外教育機関との連携
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト

URL:<http://www.asoiuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1) 衛生行政の意義 2 美容師法 (1) 法の目的 (2) 美容師に対する法的規制 (3) 美容所に対する法的規制	2年・通	30				○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1) 公衆衛生の意義 (2) 公衆衛生と美容業 (3) 保健所の業務 2 感染症 (1) 美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1) 環境衛生の意義と目的 (2) 美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1) 美容所における衛生管理の意義と目的 (2) 消毒法の選択と実施方法 (3) 消毒法の実習	1年2年・通	90				○			○	
○			美容保健	1 人体の構造及び機能 (1) 人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の構造 (2) 皮膚の生理的作用と美容との関係 (3) 毛髪および爪の生理的意義と特性 3 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生と美容施術上の注意 4 皮膚及び皮膚付属器官の疾病 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の疾病との関係 (2) 化粧品によるかぶれと美容施術上の注意	1年2年・通	120				○			○	
○			美容の物理・化学	1 美容の物理 (1) 美容業で使用される機械器具の構造、原理、機能及び操作方法に係る物理の基本事項 (2) 美容業で使用される機械器具の使用上の注意及び保守管理の方法 2 化粧品の化学 (1) 化学薬品の取扱い、溶液の調製法等の実習 (2) 化粧品の種類、使用目的、成分、作用原理及び使用上の注意	1年2年・通	90				○			○	
○			美容文化論	1 美容文化史 (1) 美容ファッションの変遷 (2) 美容業における流行の意義と役割 2 美容デザイン (1) 造形及び色彩の原理 (2) 美容における造形及び色彩の意義と応用 3 服飾 (1) 美容における服飾の意義 (2) 衣服に関するエチケット	1年2年・通	90				○			○	

○		デザイン	1 カラーコーディネート理論 2 カラーコーディネート演習 3 デッサン（ドローイング） 4 模写実習	1年・1学 2学 2年・1学	60						○	○	○					
○		ヘア&着付け	1 ヘアアレンジ実習 2 着付実習	1年・2学 3学	30						○	○						○
○		選択ヘアデザイナーコース	1 トランジェントグラデーション実習 2 スクエアレイヤー実習 3 クラシックグラデーション実習 4 トランジェントカット実習	2年・通	150						○	○	○	○				
○		選択ヘアメイクアップアーティストコース	1 TAYAアドバンスカット 実習 2 shu uemura アドバンスメイク実習	2年・通	150						○	○	○	○				
○		選択ブライダルスタイリストコース	1 ブライダルヘアアレンジ実習 2 ブライダルメイク実習 3 ブライダルドレスフィッティング実習	2年・通	150						○	○	○	○				
○		選択ヘアカラーリストコース	1 ヘアカラーアドバンス実習 2 パーソナルカラー演習	2年・通	150						○	○	○	○				
○		就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年・1学 2年・1学	30						○	○	○					
○		グローバルシズンベーシック	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年・1学 2年・1学	30						○	○	○					
○		総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年・1学 2年・1学	30						○	○	○					
合計			23科目	2100単位時間（ 単位）														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
厚生労働大臣の指定した美容師養成施設において定められた法定時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4）以上出席を満たしていること。 当該学年において履修すべき課目の各学期ごと試験の通年評価が必修課目60点（C評価）以上、選択必修課目60点（C評価）以上であること。		1学年の学期区分	3期
		1学期の授業期間	13週